【既定】	障害者入所・通所施設の整備	予算額	160,822 千円
【投資】	すぎのき生活園の改修	予算額	43,600 千円
【既定】	区立障害者通所施設の運営	予算額	327,787 千円
【既定】	障害者施設運営	予算額	7,484 千円

事業の目的・概要

障害者が安心して充実した日々を送れるよう、特別支援学校の卒業予定者数の実態等を 踏まえ、公有地等の活用により重度障害者の日中活動の場の整備を進めるとともに、医療的 ケアが必要な利用者の増加に対応していきます。

また、障害者が住み慣れた地域で必要な支援を受けながら過ごすために、障害者グループホームの開設を促進するなど、より質の高い住まいの確保に取り組みます。

主な取組内容

> (仮称) 久我山生活園の整備

重度障害者が身近な地域で充実した生活が続けられるよう、久我山一丁目都有地を活用し、民設民営により重度知的障害者通所施設(グループホーム等併設)を整備します。令和7年4月の開設に向けて、東京都及び運営法人と連携を図るとともに、法人に対して施設整備や安定的に運営をするための補助を行います。

▶ すぎのき生活園の長寿命化改修 新規

重度知的障害者を対象とした区立の生活介護施設である「すぎのき生活園」について、 築 40 年以上が経過し、設備が老朽化していることから、長寿命化改修を実施します。 令和6年度は、近隣に仮設園舎を建設するための設計を実施するとともに、現施設の改 修計画の検討を行います。

▶ 障害者施設における介護ロボット等導入

新規

障害者施設での安定したサービス提供と支援者の負担軽減を図るため、区立の障害者施設に、試行的に介護ロボット等を配備した上で、今後の導入に向けた検討を行います。

▶ 区立障害者施設送迎バスへの訪問看護師の添乗開始 ¹

新規

区立身体障害者通所施設である「こすもす生活園」及び「なのはな生活園」について、 医療的ケアが必要な利用者の更なる増加や現利用者の通所日数の拡大を見据え、新た に委託により、送迎バスへの訪問看護師の添乗を開始することで、施設利用者の安全性 を高め、重度障害者の受入体制を強化します。